

学校名	募集人員	応募人員	倍率
大崎	60	17	0.28
小山台	60	15	0.25
大森	60	24	0.4
雪谷	30	6	0.2
桜町	30	15	0.5
松原	60	11	0.18
豊島	60	31	0.52
大山	60	32	0.53
足立	90	45	0.5
江北	90	35	0.39
南葛飾	90	24	0.27
葛飾商業	30	20	0.67
江戸川	60	55	0.92
葛西南	60	37	0.62
区部計	840	367	0.44
立川	90	85	0.94
農業	60	35	0.58
神代	60	34	0.57
町田	120	56	0.47
福生	60	44	0.73
多摩部計	390	254	0.65
島嶼を除く計	1230	621	0.5

一次募集応募状況

夜間定・普通科では

夜間定時制課程の普通科では、一次募集の応募状況が左の通りとなっています。(実際に受けた人数は不明です)

一次で競争率が一倍を超えたところはありませんが、全体として高めの倍率になっています。

専門学科では

専門学科で言うと・・・

工芸のグラフィックアーツが、1.37倍、農産が1.13倍となっています。それ以外でも、農業の食品化学が30人に対して29人の応募、墨田工業が30人に対して28人、中野工業が30人に対して24人がそれぞれ応募しています。

昼夜間定時制やチャレンジは高倍率になっています。特にチャレンジは、合計800人弱の応募に対して1700人以上が応募。2.20倍の高倍率です。不合格になった生徒達が、去年同様、夜間定時制の二次募集に殺到することが予想されます。都教委の無策ぶりで被害を受けるのはまさに受験生です。

町田高校定時制の

デリバリー給食要請行動の報告

2月7日にデリバリー給食の要請行動がありました。都側は学校健康推進課長と係長が出席し、組合側は、執行部と該当分会組合員・定時制都常任委員により要請が行われました。

なぜこの時期に行われたかという点、デリバリー給食などの要請行動が昨年12月まであり、要請の最終回答として、都側が「デリバリー給食導入に際して、生徒の経済的負担増はない（値上げはしない）」と声明しました。しかし、来年度導入の町田高校定時制のデリバリー給食費を330円から370円（年間約7400円）に値上げすると学校に通告してきたのです。

要請行動の最初に都の学校健康推進課長が給食費を値上げすることについて、昨年12月の要請回答と違ってしまったことをあやまりました。しかし、なぜ値上げになったかを説明しませんでしたので、組合側から問いつめたところ、現在デリバリーを導入しているところと同じ栄養士がメニューを作るので、「業者の1食あたりの値段を変えるわけにはいかない」というのが行政の理由だそうです。

組合側が、「昨年の要請行動で答えたことと違うのではないか」「デリバリーでまずい給食になり、さらに値上げではひどいではないか」と追求しましたが、変更はできないとの回答でした。最後に執行部が、「都の責任として、生徒・保護者に説明をきちんとせよ」と要求し、「検討する」という回答を得て終了しました。

(亀山茂・工芸定)